

中学校技術科教員ライセンスセミナーの取り組み

～「中学校技術科における免許法認定講習の強化」事業～

中央教育審議会 教員養成部会

2026.09.30



国立大学法人 兵庫教育大学長

森山 潤

(一般社団法人 日本産業技術教育学会)



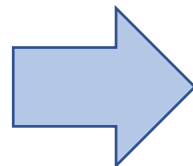
背景及び目的

- 次期学習指導要領改訂の議論において、情報活用能力の抜本的向上が掲げられる中、中学校「情報・技術科」の新設に向けて、現行中学校「技術・家庭科技術分野」(以下、技術科)の指導体制の強化が求められている。特に、本教科においては、臨時免許保有者や免許外教科担任の割合が大きいことが課題となっている※。

※ 文部科学省: https://www.mext.go.jp/content/20260629-mxt_jogai01_000006333_2.pdf

- 兵庫教育大学**では、一般社団法人**日本産業技術教育学会**と連携して、文部科学省「中学校技術科における免許法認定講習の強化事業」を受託し、現職の他教科の中学校教員向けに中学校二種（技術）の取得を促進する**免許法認定公開講座**を開設。

令和7年度:受講者数各科目100人

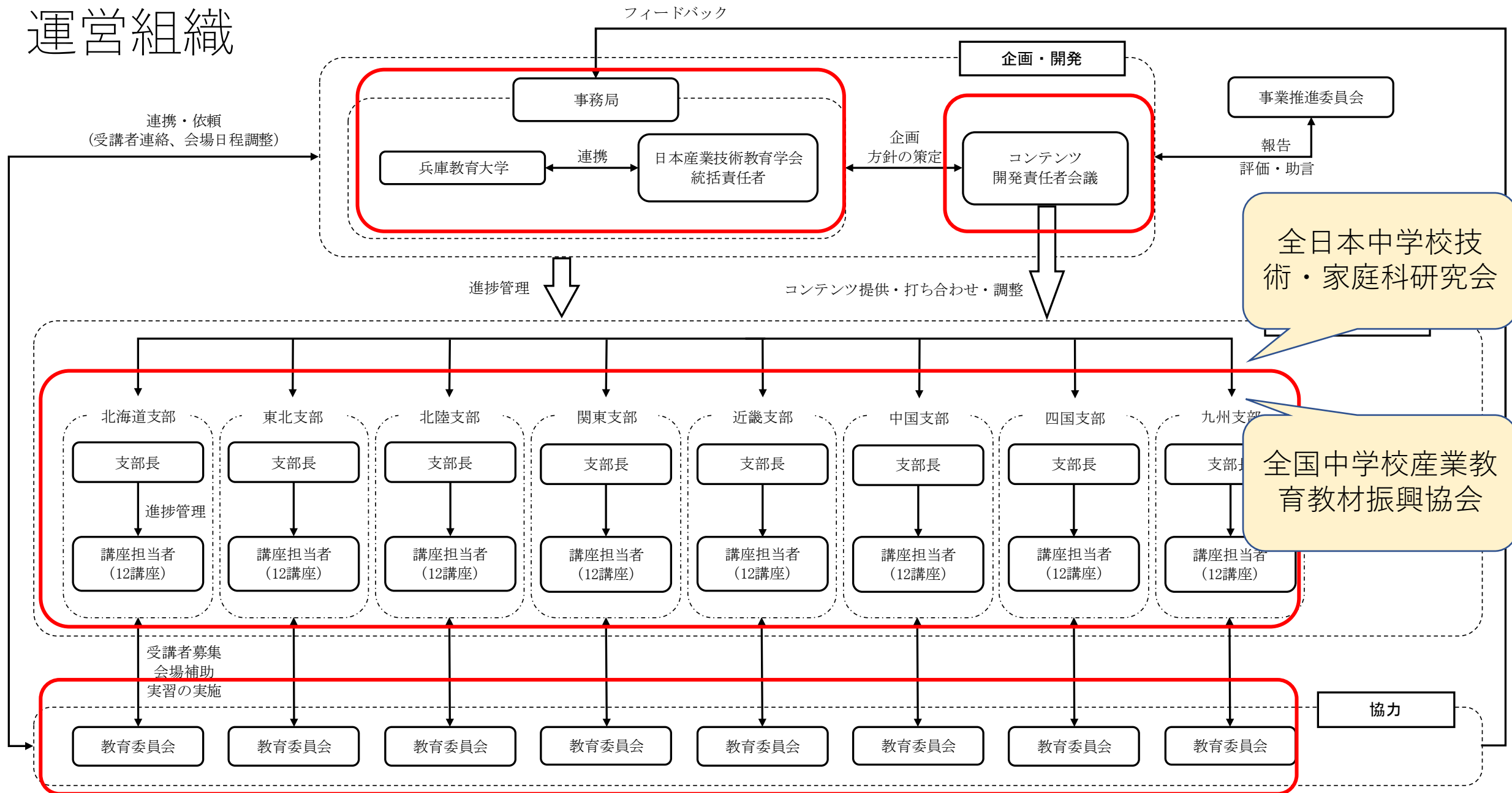


令和8年度:受講者数各科目600人

技術科教員ライセンスセミナー2026(概要)

- ✓ 中学校で技術科を指導している、又は指導する予定のある他教科の現職教員を対象に、中学校技術科二種免許状が取得できるプログラムとして、免許法認定公開講座として**13単位分の講習科目**を開設(免許法6条別表4に基づく)。
- ✓ **兵庫教育大学**を拠点大学、**日本産業技術教育学会**を連携学会とし、**全国を9つの支部**に分けて講習を展開。
- ✓ **各都道府県及び政令市教育委員会**が受講希望者の募集、受講者名簿をとりまとめ。
- ✓ 講義中心で学修可能な科目は**同期型オンライン、オンデマンド**を組み合わせた**フル・オンライン**で実施。
- ✓ 実習を含む科目は、講義部分と実習部分を分け、講義部分はフル・オンラインで実施。実習は、**対面による実習会場を教育委員会が設置し、講師はオンラインにて指導するハイブリッド形式**にて実施。実習会場には、教育委員会による実習補助者を配置(安全確保)。
- ✓ 出席要件(**5分の4以上の出席**)は、同期型オンライン及びオンデマンドの講習については、それぞれのコンテンツの視聴履歴データを収集し、チェックする作業により確認。

運営組織



講座名、会場	免許法施行規則に定める科目区分等		単位数	実施内容	コンテンツ開発責任者 (代表: 東京学芸大学 大谷 忠)
	科目	各科目に含める必要事項		VOD：ビデオオンデマンド オンライン：同時双方向による遠隔講習 実習：指定会場での対面実習	
技術科教育法Ⅰ 会場：インターネット	教職	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	1	オンライン：15時間	(技術教育分科会) 湘南工科大学 尾崎 誠 大分大学 中原 久志 大分大学 市原 靖士
技術科教育法Ⅱ 会場：インターネット	教職	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	1	オンライン：15時間	
技術科教育法Ⅲ 会場：インターネット	教職	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	1	オンライン：15時間	
情報とコンピュータⅠ 会場：インターネット	教科	情報とコンピュータ	1	VOD：4時間、オンライン：11時間	(情報分科会) 静岡大学 室伏 春樹
情報とコンピュータⅡ 会場：インターネット	教科	情報とコンピュータ	1	VOD：4時間、オンライン：11時間	
情報とコンピュータⅢ (実習含む) 会場：インターネット	教科	情報とコンピュータ	1	VOD: 4時間、オンライン: 7時間、実習: 4時間	
情報とコンピュータⅣ 会場：インターネット	教科	情報とコンピュータ	1	VOD: 4時間、オンライン: 11時間	
生物育成概論 会場：インターネット	教科	生物育成	1	オンライン：15時間	(生物育成分科会) 長崎大学 鎌田 英一郎
材料加工Ⅰ (実習含む) 会場：インターネット・実習会場	教科	材料加工 (実習含む)	1	VOD：3時間、オンライン: 8時間、実習: 4時間	(材料加工分科会(木材加工)) 北海道教育大学(札幌) 大矢 智
材料加工Ⅱ (実習含む) 会場：インターネット・実習会場	教科	材料加工 (実習含む)	1	VOD: 4時間、オンライン: 7時間、実習: 4時間	(材料加工分科会(金属加工)) 茨城大学 小祝 達朗
機械工学 (実習含む) 会場：インターネット・実習会場	教科	機械・電気 (実習含む)	1	VOD：4時間、オンライン: 8時間。実習: 3時間	(エネルギー分科会(機械)) 群馬大学 紺谷 正樹
電気工学 (実習含む) 会場：インターネット・実習会場	教科	機械・電気 (実習含む)	2	VOD：11時間、オンライン: 15時間、実習: 4時間	(エネルギー分科会(電気)) 北海道教育大学(旭川) 馬場 栄徳

開設科目名: (技術科教育法I)

<開講日>

1日目:
2日目:

<開講場所>

オンライン

<科目の概要>

1日目: 学習指導要領解説と各社教科書に基づき、技術科の目標、主な内容、全体構造を理解する。
内容A, Bの具体的な学習内容等を理解する。
2日目: 内容C, Dの具体的な学習内容等を理解する。
学習評価の考え方と、具体的な方法を理解する。

<時間割表>

実施日	実施時間	講義、演習、実験、実習、実技等の実施計画
1日目	9:30～16:50	オリエンテーション、講義・演習①②③④⑤⑥⑦⑧
2日目	9:30～17:00	オリエンテーション、講義・演習⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮、レポート課題、アンケート

2.3 目標に関わる重要なキーワード (1)

- ①技術の見方・考え方を働かせ: ヒト・モノ・コトと「技術」との関わりから、技術は最適化されているという視点
- ②技術に関する実践的・体験的な活動を通して: 実習(製作・制作・育成)だけでなく、観察・実験、調査等も組み合わせる
- ③生活や社会と技術の関わりについて理解を深め、技術の発展に貢献する意欲を育成する
- ④基礎的な技術の理解と応用能力の育成
- ⑤それらに基き、技術の発展に貢献する意欲を育成する
- ⑥技術と社会の関わりについて理解を深め、技術の発展に貢献する意欲を育成する

2.3 目標に関わる重要なキーワード (2)

- ⑦技術に関わる問題を見いだして: 「材料と加工の技術」等、対象となる技術の見方・考え方を働かせて、生活や社会から問題を見いだす。
- ⑧課題を設定し: 「見いだした問題」を解決するには、いくつかの「具体的な課題」を解決する必要がある = 技術的な課題
- ⑨解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し:
 - ・大まかな設計<概念設計>: 課題を解決するための方策。図表にかき表して整理すること。これが技術科における言語活動にあたる。
 - ・より具体的な設計<詳細設計>: 試作を通して構想をより詳細に決定していくこと
※生徒全員が同一の製作品を作る、自分が欲しいものをつくる、ということではない。
- ⑩実践を評価・改善する: 課題をどの程度解決できたのか、次の改善策は何か、を丁寧に振り返ること
 - ・これが「自己調整」の要となる。
 - ・「製作品の加工精度の評価」や、「野菜の生育状況の評価」とは異なる。
- ⑪よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて:
 - ・よりよい生活の実現 → 生徒が自分の力で、生活をよりよくしていくこと
 - ・持続可能な社会の構築 → 生徒が自分の力を、社会や他者のために発揮していくこと
- ⑫適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度: 生徒が自ら進んで技術を活用しようという気持ちや姿勢を育てるのが、技術科の目標

第1日 講師()

区 分	時 間	内 容
	9:30～9:40	オリエンテーション
講義・演習 ①②	9:40～11:10	○学習指導要領における技術科の目標、主な内容、全体構造(その1)
講義・演習 ③④	11:20～12:50	○学習指導要領における技術科の目標、主な内容、全体構造(その2)
講義・演習 ⑤⑥	13:40～15:10	○内容「A 材料と加工の技術」の学習内容、授業の事例、指導上の留意点
講義・演習 ⑦⑧	15:20～16:50	○内容「B 生物育成の技術」の学習内容、授業の事例、指導上の留意点

第2日 講師()

区 分	時 間	内 容
	9:30～9:40	オリエンテーション
講義・演習 ⑨⑩	9:40～11:10	○内容「C エネルギー変換の技術」の学習内容、授業の事例、指導上の留意点
講義・演習 ⑪⑫	11:20～12:50	○内容「D 情報の技術」の学習内容、授業の事例、指導上の留意点(その1)
講義・演習 ⑬⑭	13:40～15:10	○内容「D情報の技術」の学習内容、授業の事例、指導上の留意点(その2)
講義・演習 ⑮	15:20～16:05	○技術科における学習評価の考え方、具体的な事例 ○レポート課題の説明
	16:05～16:15	アンケート

※講師の都合により、多少時間を変更する可能性がありますので、ご了承ください。

学修支援システム(LMS)の構築

HUTE Moodle Home ダッシュボード マイコース サイト管理

コース概要

すべて ▾

検索

コース名で並べ替える ▾

カード ▾



技術科教育法Ⅰ (R8認定講座)
R8年度教育講座



技術科教育法Ⅱ (R8認定講座)
R8年度教育講座



技術科教育法Ⅲ (R8認定講座)
R8年度教育講座



材料加工Ⅰ (実習含む) (R8認定講座)
R8年度教育講座



材料加工Ⅱ (実習含む) (R8認定講座)
R8年度教育講座



機械工学 (実習含む) (R8認定講座)
R8年度教育講座



兵庫教育大学 Moodle

Home 設定 参加者 レポート 問題バンク さらに ▾

お知らせ：問い合わせ・欠席の連絡先について

お問い合わせ

入力Forms： <https://forms.cloud.microsoft/r/wG3K5CBXB7>

欠席連絡

入力Forms： <https://forms.cloud.microsoft/r/ZyPlc6FGmY>

お問い合わせ、欠席についてのご連絡は上記をお願いいたします。
メールでは、埋もれてしまい対応が難しい場合がございます。

 お知らせ (問い合わせへのご回答)

 ZOOM接続に関するお問い合わせ窓口

LMSにおけるコースの例

オンラインでの講習実施にあたり、対面と同等の学習効果が得られるよう、LMS上で、受講者の質問等に速やかに回答できる学習環境を構築

技術科教育法Ⅰ（R8認定講座）

コース 評価 問題バンク コンピテンシ

一般

すべてを折りたたむ

全国共通コンテンツ【受講者用】

受講者への配付資料 PDF

シラバス PDF

全国で同一の
教材を共有

北海道地区（9/18, 9/26）

次の条件に一致しない限り利用できません: あなたが北海道に属している場合 ...

さらに表示する

東北地区（9/14, 9/15）

次の条件に一致しない限り利用できません: あなたが東北に属している場合 ...

さらに表示する

北海道地区

次の条件に一致しない限り利用できません: あなたが北海道に属している場合 ...

さらに表示する

アナウンスメント

フォーラム

受講前のアンケート

レポート課題（Wordファイル）DOCX

学生から秘匿

レポート課題 提出場所（北海道地区）

学生から秘匿

学生から秘匿

講師が用意した追加資料等は、この下に追加してください。

各地区ごとに、アナウンスやフォーラム等によるインタラクションの支援

各地区ごとに、レポート課題等を提出

受講状況及び開講スケジュール

- 受講決定者(総数) 656人
- 実習科目の受講者(実習会場の収容人数)

	材料加工Ⅰ	材料加工Ⅱ	機械工学	電気工学
受講者数	526人	522人	521人	530人

- 開講スケジュール

オンデマンド研修（令和8年7月21日より実施）

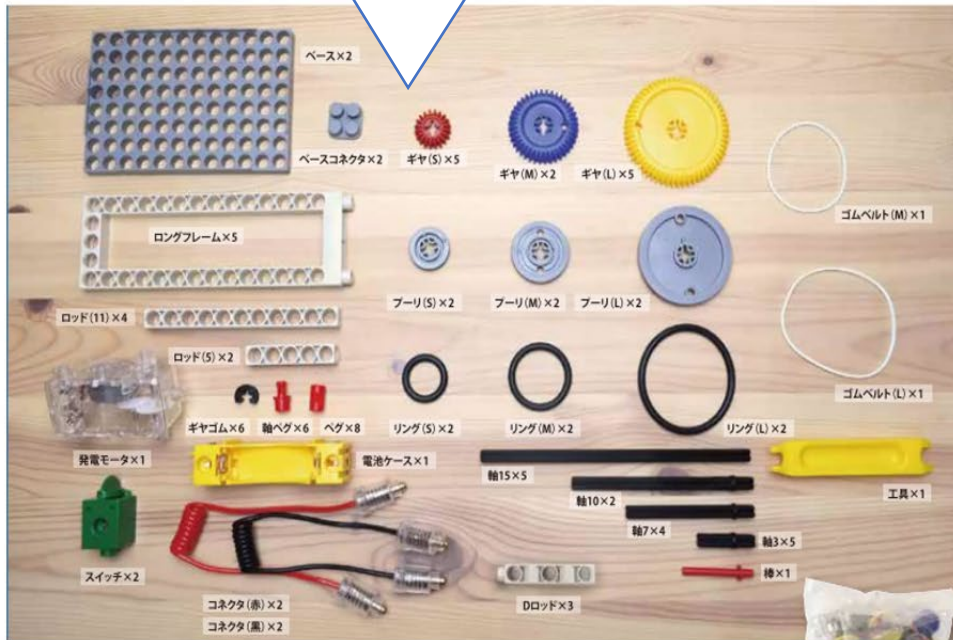
同期型オンライン研修（令和8年8月2日より実施）

同期型オンライン研修（実習）（令和8年8月10日より実施）

7～8月: 材料加工Ⅰ・Ⅱ、機械工学、電気工学を開講

ハイブリッドによる実習の実施例(機械工学)

講師による教材の提示



4

講師
(大学教員)



奈良教育大学 古田このみ准教授



各都道府県
実習会場

今後の予定

- 9月以降開講予定 (1か月に2科目程度)
 - 生物育成概論
 - 技術科教育法 I ・ II ・ III
 - 情報とコンピュータ I ・ II ・ III ・ IV
- 3月 「学力に関する証明書」の発行



HYOGO UNIVERSITY OF
TEACHER EDUCATION



<https://www.hyogo-u.ac.jp/>



<https://www.jste.jp/main/index.php>

— *Thank you for your attention!!*

